



輝け未来へ！

和歌山県立きのくに青雲高等学校

定時制課程 情報会計科ガイド

情報会計科の目標

情報処理関係と簿記会計関係の科目を多数揃え、実習に重きを置いた学習を展開し、実社会に出てすぐに役立つ有為な人材の育成を目指します。

情報会計科の特徴

- *最新機種のパソコンを導入するなど情報機器の充実が図られ、各種資格検定取得にも、丁寧にサポートしています。
- *教師と生徒の緻密なコミュニケーションにより、徹底した指導を行います。
- *定時制である本校では原則として4年間で74単位以上を修得すれば卒業できるので、ゆとりある高校生活を送れます。
- *正規の授業以外にお昼の講座科目などの単位を修得することにより、3年で卒業することも可能です。
- *教育課程表のとおり、多数の選択科目が用意されており、自分の興味や将来の進路を考えて科目履修計画が立てられます。

情報会計科の授業について

情報会計科では、社会の仕組みやその社会を支える経済の流れについて基礎的なことから学び、コンピュータやワープロ・簿記などの知識や技能を身につけていきます。実際、情報会計科ではどのような授業が行われるのでしょうか。いくつかご紹介します。

ビジネス基礎

変化の激しい経済社会の中でビジネスに関する基礎的・基本的な知識や技術を身につけ、ビジネスの課題や問題を正面からとらえ、どのように解決すべきかを考える学習などを通じてビジネスに従事する能力・資質を養います。

簿記

企業を営んでいくためには、合理的な営業活動を行い、その結果である営業成績の善し悪しを判断しなければなりません。そのためには日常の取引を帳簿に記録し、計算・整理しなければなりません。

簿記の科目では以上のようなことを処理する能力を養うため、複式簿記の基本的な原理と仕組みを理解し、記帳練習を行います。簿記の能力を磨き、上級の検定資格を取得すれば、社会での評価はもちろん最近では上級の資格検定取得を条件に推薦入学を受け入れる大学も増えているので進学にも有利です。

財務会計Ⅰ

簿記の学習に続き、企業の経営成績や財産を表した書類（財務諸表）を作成したり、内容を読み取ったり、理解する学習です。

文書処理

文書作成ソフトを操作して、文書の作成から編集・印刷にいたるまでの技術や文書の形式などを学びます。

文書作成ソフトの技能は広く社会一般から要求されており、検定資格を取得すると就職などに有利になります。

情報処理

現代社会ではコンピュータの利用は欠くことのできないものとなっています。情報処理の授業ではパソコンを扱います。文字入力やマウス操作などの基本操作と表計算ソフトを使って基礎的な学習を行います。インターネットを利用して情報収集や実際的な活用方法も学習していきます。

初級プログラミング

情報処理よりさらにハイレベルな内容のアプリケーションソフトに挑戦します。

総合実践

総合実践の授業では、実社会のように生徒が売買活動の体験学習を行い、文書作成や記帳などをできるだけ実務に近い形で学習し、さらには商業活動についての知識・技能・態度をしっかりと身につけます。

広告と販売促進

販売促進や顧客満足度の実現を目指すために、広告の制作・店舗設計・商品陳列・接客などに関して学習します。

ビジネス実務

商業を支える計算や合理的な数の扱い方を学習します。また簡単なビジネスマナーなども学習します。

課題研究

専門教科の総仕上げの授業です。これまで学習した事を基に、生徒が自ら自分の課題を設定し、調べ学習や実習を行いながらその課題をさらに深く研究する科目です。

☆資格検定合格者数状況

資格検定	主催団体	2019年度合格者数	2020年度合格者数
珠算・電卓実務検定	全国商業高等学校協会	2級1名	3級(普通計算)1名
簿記実務検定	全国商業高等学校協会		
ビジネス文書実務検定	全国商業高等学校協会	3級1名,2級10名, 1級2名	3級(速度)1名 2級(速度)3名 2級(文書)3名
情報処理検定	全国商業高等学校協会	2級1名	